

# 県政に大きな役割 鶴岡の共産党県議奪還を

## 渡辺ゆり子県議語る

加藤太一ブロック会  
後援 懇談会

説明したルールブックを2012年、13年と配布するようになった。14年度も実施することになったが、毎年配布するようにしていきたい。

住宅リフォーム助成は3年間で終わりの見直しの時期に来ているが今年度も続けることになった。さらに充実をめざしたい。

吉村県政の問題点は指摘

最上小国川ダム問題は、結論として「ダム建設ありき」になっている。県は「話し合いは終わったというスタンス」。最上川漁協の過半数の信任を得る「工作」をしている。党はダムによらない治水対策の対案を示して反対している。

慶応大学先端生命科学研究所関連では、予算のあり方・産業政策として問題がある。地域経済循環型が大事。対案としては中小企業支援の強化を打ち出している。

吉村知事も衆院選、参院選の結果を通じて自民党に足を引っ張られている。消費税増税



日本共産党加藤太一ブロック後援会連絡会では、このほど渡辺ゆり子県議会議員（山形市選挙区）と県政問題の懇談会を行いました。

渡辺ゆり子県議の報告内容の要旨を紹介いたします。

県民要求実現に大きな役割

党県委員会と県議団は吉村知事に県民生活に重要な事項を申し入れられている。そのなかでいろいろな政策が実現している。

その一つが子育て医

療の充実で、県がこれまでの未就学児から小学3年生まで拡大したことが自治体の拡充につながり今年度から鶴岡市をはじめ新たに10市町が中学3年生まで拡大することができた。

福祉灯油は、党の要望と知事の思いが一致して実現したものが、実施時期が遅かった事と自治体に対する補助が一律100万円だったために市のレベルでは実施が困難だった。当初から予算化するなど取り組みを強めたい。

高校3年生に、労働基準法をわかりやすく

では「慎重」から「低所得対策を」に。TPPでは「反対」から「慎重に、情報提供を」となった。学力テストも「公表したほうがいい」と発言しており問題。

鶴岡から  
党県議奪還を

共産党は、吉村県政の与党ではない。1期目は政策合意を行い支

## 「フクシマの子供の未来を守る家」が総会開催

「フクシマの子供の未来を守る家」(高橋裕子代表)の第3回総会が18日、こびあで開催されました。

総会にはサポーターなど20人が参加、2014年度の活動方針を決めました。「守る家」は東日本大震災による原発事故による放射能被害から子ども達の健康を守るために「保養・一時疎開」を受け入れを行っています。

「守る家」では、夏休みの受け入れに向けて空き家を探しています。加藤太一市議もサポーターとして参加しました。

## 原水禁世界大会成功へ 田川原水協が総会開催

20日、原水爆禁止田川地区協議会(柳原敦代表委員)が定期総会を行いました。

総会では6月14日から16日の鶴岡・田川地区の国民平和行進を成功させること。8月4日から6日に広島市で行われる原水爆禁止世界大会の成功への取り組みと代表団の派遣。2015年のNP T(核不拡散条約)再検討会議に向けた署名活動の促進を図ることを確認し、新たな役員体制を決めました。



# 農家と園児がペアで田植え

## 庄内産直センターと横浜の保育園が田植え交流会を開催

18日、庄内産直センター（渡部正一組合長（理事）と横浜の小雀みどり保育園、戸塚みどり保育園（園児・小学生23人、保育士など11人）との田植え交流会が開催されました。

「生命の源にふれる旅」と銘打って行われているこの交流会は、産直米の提携をきっかけに始まり、今年で17回目。子ども達の「野外保育」として取り組まれています。

今回は、保育園で毎日食べている鶴岡I型（農薬1成分1回限り・特別栽培）のコシヒカリを栽培する、藤島



生産者と園児がペアを組んで田植え  
(5月18日、鶴岡市長沼・本間薦さんの田んぼにて)

・長沼地区の本間薦さんの田んぼで、園児と生産者がペアを組んで田植えを行いました。この日の昼食交流会では、鶴岡型特別栽培米認証の取り組みを推進している鶴岡市から、佐藤農林水産部長が出席し「鶴岡のすばらしさを実感してほしい」と歓迎のあいさつをしました。

一行は、17日～19日の2泊3日で生産者との交流を深め、雪の残る月山麓の散策や、温海でのアスパラガス収穫体験、大山「ほとりあ」での自然体験などを楽しみました。

### 建築課入札結果（ ）内は予定価格

- 5月16日入札分
  - ・市立朝日中学校建築用軸組等木材購入 出羽庄内森林組合 12,000,000円（-） 納期～6/30（落札率？%）
  - 5月15日入札分
    - ・市立朝陽第四小学校外構整備電気設備工事 日栄産業有限会社 2,470,000円（2,552,000円） 工期～6/30（落札率96.8%）

### 下水道課入札結果（ ）内は予定価格

- 5月15日入札分
  - ・市公共下水道事業 汚水285-3号新設工事（釜谷坂地内） 株式会社和泉工務店 1,400,000円（1,523,000円） 工期～6/27（落札率91.9%）

### 南部建設事務室入札結果（ ）内は予定価格

- 5月15日入札分
  - ・平成25年災 市道筋平線道路災害復旧工事（越中山地内）（有）上野興業 2,100,000円（2,324,000円） 工期～10/31（落札率90.4%）

### 土木課入札結果（ ）内は予定価格

- 5月15日入札分
  - ・中道線道路改良工事（宝町地内） 不調
  - ・本町三丁目井岡線・陽光町6号線道路改良工事（本町三丁目、陽光町地内） 落札決定保留中 -（8,849,000円） 工期～9/30

### 朝日庁舎入札結果（ ）内は予定価格

- 5月15日入札分
  - ・平成25年災（33-115道路）松ヶ沢地区災害復旧工事（大針地内） 中止

に対して日本は38・08と群を抜いて多い。原発事故はとめどなき復興災害であると締めくくりました。

馬場有浪江町長は、浪江町を紹介した後、小中学校合わせて9校の子ども達が699校に分散したと報告。「ほんとうにくやしい」と思いを語りました。

原発災害初期の状況にふれ、原発事故の原因はパイプの破断による排水停止ではないかと想定し、現場調査に入った。その証拠を残そうとビデオカメラを回したが撮影を依頼した先が東電だった。東電職員はカメラのキャップをつけたまま撮影し、後でみたら真っ黒で何も映っていないかつたと語り「東電はそういう所です」と告発。

浪江町に行くとき「時間の止まった」独特の空気の匂いがある。人

間の幸福追求権が奪われた。「帰れと言われなくても帰れない」「居候のつらさ」があると話しました。

浪江町の「復興」への向き合い方は、「復興」の定義づけからスタートする町として、浪江に「帰る・帰らないではなく一人一人の暮らしの再建をめざす」「帰る・帰らないではなく皆の宝を引き継いだ責任、引き継ぐ責任がある」と決意を述べました。

暮らしの再建では、住民の健康管理・医療の保障、故郷の外での仕事の確保、狭く・分散居住状態から集合居住への改善、賠償・補償の取り組みを上げ、ふるさと再生は「安全」ではなく「安心」水準の確保とし、1マイク

た。今後の問題は、原発の動向と行政職員が足りない、マンパワー不足だと話しています。

浪江町の取り組みとして、ライブカメラを各地に取り付けリアルタイムで誰でも見えるようにしている。内部被曝検査を年一回実施。甲状腺検査は福島県で実施している20歳までは2年毎に、20歳以上は5年毎の他に40歳以下の希望する人に実施。県内外での町民の「しゃべり場」の開催。県外への支援員の配置。放射能測定器の配布・点検、スポーツ交流会などを取り組んでいます。

見通しの立たない中で「町」再建への取り組みを語りました。（おわり）

# 震災復興シンポに参加して(5)

加藤太一

主な流用は沖縄県の 摘。

国道整備、国立競技場修復、海外青年交流事業などで流用が増加している。一方で復興関係の予算執行状況は62%と進んでいないと指

今後30年間の地震発生率は東海87%、東南海70%、南海60%と言

われる。「地震×原発」のリスクでは、他の国々が小数点2以下なの